

地域の魅力ある道路景観の形成・活用に向けて ～シーニックバイウェイ「秀逸な道」～

シーニックバイウェイ北海道推進協議会事務局
(北海道開発局建設部道路計画課)

北海道総合開発計画(平成28年3月閣議決定)

第4章 計画の主要施策

第2節 世界に目を向けた産業の振興

(2) 世界水準の観光地の形成

各地域がそれぞれの地域資源を活かして「世界水準」の魅力ある観光地域づくりを進めることが必要である。

このため、北海道内各地域における四季折々の自然や景観（中略）等の地域資源を、世界に通用するレベルまで磨き上げる取組を促進する。

地域が主体となって美しい景観づくりなどに取り組んでいる「シーニックバイウェイ北海道」等、北海道の雄大な景観の中での移動そのものも楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム等の振興（中略）を促進する。

平成29年度北海道局関係予算概要

「シーニックバイウェイ北海道」の推進

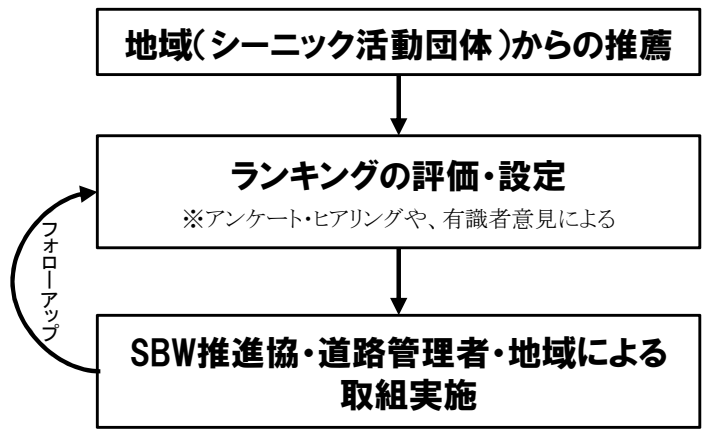
ドライブ観光を推進する「シーニックバイウェイ北海道」において、地域の魅力ある道路景観が観光目的地となるよう、秀逸な道を選定する枠組みを構築し、ドライブ観光客への情報発信・誘導、景観の重点的保全等の地域と協働した取組を推進する。

検討の状況

■ 下記の具体的な進め方や内容について、【試行による検討】を実施(H29～)

シーニックバイウェイと連携した「秀逸な道」の設定

【設定プロセス】



【秀逸な道の考え方】 魅力ある道路景観を有し、地域の活動団体による取組も期待できる箇所

■①道路を走って魅力的
(一定の延長の道路区間)



■②道路脇の景観が魅力的
(ビューポイント)



■③道路自体が魅力的
(道路区間+ビューポイント)



【ランキングのイメージ】※ミシュランガイドの文言を参考

- ★★★ : そのために旅行する価値のある卓越した道路
- ★★☆ : 遠回りしてでも訪れる価値のある素晴らしい道路
- ★☆☆ : 特に景観の良い道路

→ プロモーションで積極活用
→ 景観保全を重点的に実施して、ランクアップを目指す

ドライブ&サイクル観光客への情報発信・誘導

■ シーニックバイウェイ推進協によるPR・プロモーション活動 ※道の駅やSA・PAも積極的に活用



- 「北海道ドライブ観光促進社会実験」と連携した取組
インバウンド向けアプリ等での紹介
- 「北海道のサイクルツーリズム推進」と連携した取組
サイクリスト向けのプロモーション等を実施

景観の重点的な保全

■ 地域と道路管理者の協働による景観保全 ※道路協力団体制度も活用

道路管理者

- 不要な標識類の集約、撤去
- 除草、除雪の重点実施
- 電線の「見えない化」 等



シーニック活動団体

- 景観阻害要素のピックアップ
- ビューポイントの除草、除雪
- ゴミゼロ活動 等



連携

「秀逸な道」検討の進め方(議論中)

10月24日 シーニックバイウェイ推進協議会 試行の考え方を説明

ブロック会議(道央・道南、道東、道北)でのルート活動団体への説明(11月)

SBW活動団体へのヒアリング

→ 団体による推薦箇所の聴取(「特におすすめ」と「おすすめ」)

「秀逸な道」候補(案)

- ① 利用者(ドライバーやサイクリスト等)視線で魅力的な景観を有する一定の延長の道路区間
※写真を撮ろうとする方(駐車)への対応について、試行を通じて検討
- ② 道路脇の景観が魅力的なビューポイント(安全に駐車できる箇所)
- ③ 道路自体が魅力的な景観(外部景観)を構成する道路区間と、それを望むビューポイント(安全に駐車できる箇所)

★★★箇所の設定(年度内)

各ルート1箇所程度 → 既存のタペストリーや冊子と同様な箇所(同じ箇所でも可能)
(活動団体の推薦をベースとしながら設定)

★★★箇所

PR・プロモーション
で活用

左記を含むすべての箇所

地域との協働による
景観の重点的な保全に着手

並行して道路管理者としての
景観改善候補箇所ピックアップ

並行してランキング設定方法等を検討(アンケート等)→H30以降に本格実施

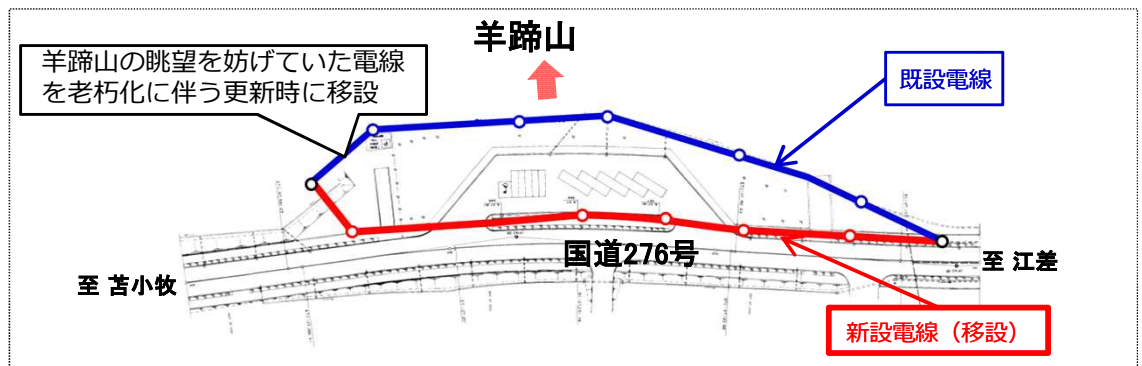
(参考)羊蹄山を望む景観を大幅に改善～地域・電線管理者と連携した「電線の見えない化」～

- 国道276号倶知安町「^{やはた}八幡ビューポイントパーキング」は、地域のシンボルである羊蹄山が一望できるスポットであるが、電線が眺望の妨げとなっていた
- 電線管理者に働きかけ、電柱の老朽化による更新に伴い電線に移設し、羊蹄山を望む景観を大幅に改善



【「シーニックバイウェイ北海道」の取組により実現】

- 平成15年度に「シーニックバイウェイ北海道」の取組として、「支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア」の活動団体と道路景観診断を実施
- 平成28年度に電柱の老朽化に伴い、更新のタイミングで眺望を妨げない位置に移設する協議を電線管理者と実施
- 平成29年8月に電柱の移設工事を実施



【シーニックデッキのリニューアル～世界最高水準の景観実現に向けて～】

「支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア」の活動団体である「WAOニセコ羊蹄再発見の会」が、設置から約10年経過しているシーニックデッキをリニューアル
電線の見えない化に加えて、地域と連携して、景観向上のためのさらなる取組を実施



(参考)地域景観向上の取組み(矢羽根の立替)

- シーニック活動団体に参加いただいている協働型道路マネジメント検討会において、「上士幌三股地区の矢羽根が多いので、景観の良い場所だけでも撤去してほしい」との指摘
- これを踏まえ、上士幌三股地区(約1.3km)の区間で矢羽根→デリネーターに立替を実施(H28.2)

